

Neuroscience 2016

第39回 日本神経科学大会

The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society

募金趣意書



2016年7月20日(水)～22日(金)

パシフィコ横浜

第39回日本神経科学大会 / Neuroscience 2016

大会長 入來 篤史

(理化学研究所脳科学総合研究センター)

ご挨拶

脳と心、すこやかに

いま、私達の日常社会のなかで、さまざまな「こころの問題」が注目されています。人生をより豊かに幸せにするために、そして直面するさまざまな問題を理解し解決するために、こころのメカニズムの解明は、これからの脳神経科学の大目標です。今年の第39回日本神経科学大会は、第31回国際心理学会議と、同じ会場で連続して開催します。これを好機として、本大会は『**脳と心、すこやかに**』をテーマに、脳神経科学分野の最先端で活躍する国内外のトップ研究者が糾合し、我が国の次世代の神経科学を担う気鋭の研究者とともに、脳と心のメカニズムの解明を期して、分子細胞生物学的基礎から臨床医学/心理学に亘る幅広い研究分野の学術領域の振興と、世界をリードする研究の活性化を図ることを目指します。

しかし、心理的な現象である「心」のはたらきと、生物的な臓器である「脳」機能のメカニズムとの間には、まだまだ大きなギャップがあります。人間の心は、個性ゆたかで多様性に富み、人生の経験や歴史とともにうつろいゆくものですから、できるだけ単純な要素還元論的な説明や再現性と普遍性を追及する現代自然科学の作法とは、実は相性がよくないのです。けれども、「心」は私達の「脳」のはたらきで生み出される、と誰もが思っていますから、それを知りたくなるのも、また人間です。脳神経科学は、すぐその手前まで手の届くところまで来ている、と人々の期待をあつめています。わたしたち神経科学者はそれに真剣に応えようとしています。

ここに必要なのは、立場の異なる人々がお互いに敬意をもって寛容に向かい合い、絶え間なく交流することによる相互作用でしょう。そのためには、有効な仮説を幾つも組み立て、一つ一つ丁寧に吟味してゆく以外にありません。こうした実証実験で得た事実に基づいて元の仮説を再検討し、それが修正されたり否定されたりしながら、これを幾度も幾度もくりかえすことが、研究の進歩を確実に牽引します。脳神経科学は、人間の心の問題に科学的な客観評価軸をもとめる、現代社会の要請に答えようとしています。そしてそこには心のメカニズム解明という、学問的な大挑戦としての躍動感、真実を追及して深く考える学者の本分としての醍醐味があります。

この相互作用をより内容の濃いものにするために、本大会では国際心理学会と協働して、さまざまな連携・共同企画を予定しています。脳と心の理解は、『人間』を理解することでもあります。さらにここで、そのメカニズムの一端でも、従来の自然科学的な機能分子や神経回路の言葉に翻訳するための、これまで困難であった新たな方法を編み出すことができれば、現代社会が直面するさまざまな心の問題を直ちに克服して、すこやかな脳と心をはぐくむ手掛かりが得られるかもしれません。本大会が、そのような契機となることを願っています。

第39回日本神経科学大会

大会長 入来 篤史

理化学研究所脳科学総合研究センター

■ 開催概要

1. 会議の名称 第39回日本神経科学学会大会
The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society

2. 大会テーマ 脳と心、すこやかに
be sound, brain and mind

3. 開催日程 2016年(平成28年)7月20日(水)～22日(金)

4. 開催会場 パシフィコ横浜
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
<http://www.pacifico.co.jp/>

5. 開催の目的と意義

本大会は『脳と心、すこやかに』をテーマに、脳神経科学分野の最先端で活躍する国内外のトップ研究者が糾合し、我が国の次世代の神経科学を担う気鋭の研究者とともに、脳と心のメカニズムの解明を目指す、分子細胞生物学的基礎から臨床医学/心理学に亘る幅広い研究分野の学術領域の振興と、世界をリードする研究の活性化を図る。本大会はまた、連続して開催される第31回国際心理学会議と協働して、健やかな脳と心を育て近未来の人間社会が豊かで幸せであることに資するべく、様々な学際的連携企画を予定している。

6. 開催計画の概要

- プレナリーレクチャー
- 特別講演
- 特別企画
- シンポジウム
- 受賞記念講演
- 一般口演・ポスター発表
- ランチョンセミナー
- 機器、試薬、書籍等展示会等

7. 参加者数 約3,500名(予定)

8. 使用言語 日本語 / 英語

9. 寄附を必要とする理由

第 39 回日本神経科学大会では、約 3,500 名の参加が予定されています。本大会の準備運営等に関する総経費は 100,670,800 円と推算されます。この必要経費は、本来、主催団体の負担や大会参加費でまかなうべきところではございますが、その金額には限度がございます。

本大会事務局といたしましては、学会の準備・運営にあたり、極力無駄を廃し、経費節減に努めてまいり所存ではございますが、関係各方面からのご寄付に頼らざるを得ないのが実情でございます。つきましては、総経費のうち、大会参加費 40,100,000 円、懇親会参加費 2,010,000 円、出展料 27,432,000 円、セミナー共催費 14,688,000 円、スポンサー費 3,000,000 円、広告料 2,440,800 円、学会貸付金及びその他収入 1,000,000 円計 90,670,800 円を除く不足額 10,000,000 円をご援助に頼らざるを得ない現状です。諸経費御多端の折、誠に恐縮と存じますが、本大会が多なる成果をあげ、神経科学のさらなる研究の発展及び関係各界の発展にも寄与することをご配慮いただきまして、是非ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

10. 収支予算案

| 項目 | 金額 (円) | 備考 |
|----------------------------|--------------------|-------------------------------------|
| 1 大会参加費 | 40,100,000 | |
| [早期事前登録] | | |
| 会員 (一般) 16,000 x 1,300名 | 20,800,000 | 参加者 3,000名想定 |
| 会員 (大学院生) 1,000 x 500名 | 500,000 | |
| 会員 (筆頭発表の学部学生) 1,000 x 50名 | 50,000 | |
| 非会員 (一般) 20,000 x 70名 | 1,400,000 | |
| 非会員 (大学院生) 3,000 x 50名 | 150,000 | |
| [後期事前登録] | | |
| 一般 18,000 x 200名 | 3,600,000 | |
| 会員 (大学院生) 2,000 x 20名 | 40,000 | |
| 非会員 (一般) 22,000 x 60名 | 1,320,000 | |
| 非会員 (大学院生) 4,000 x 50名 | 200,000 | |
| [当日参加] | | |
| 会員 (一般) 20,000 x 240名 | 4,800,000 | |
| 会員 (大学院生) 3,000 x 30名 | 90,000 | |
| 非会員 (一般) 25,000 x 250名 | 6,250,000 | |
| 非会員 (大学院生) 5,000 x 180名 | 900,000 | |
| 2 懇親会参加費 | 2,010,000 | 有料参加者500人 (一般300 : 大学院生200) |
| 3 学会貸付金 | 500,000 | 日本神経科学学会 |
| 4 出展料 | 27,432,000 | 機器展示 90小間、書籍展示 30小間 アカデミア展示 20小間 |
| 5 セミナー共催費 | 14,688,000 | 10件 |
| 6 スポンサー費 | 3,000,000 | パッケージスポンサー |
| 7 広告料 | 2,440,800 | HPバナー広告、プログラム集広告 |
| 8 寄付・助成・補助 | 10,000,000 | 企業・財団等 |
| 9 その他収入 | 500,000 | |
| 合計 | 100,670,800 | |

支出の部

| 項目 | 金額 (円) | 備考 |
|----------------|--------------------|-----------------|
| 1 会議準備費 | 18,210,216 | |
| 1 事前準備人件費 | 3,798,200 | |
| 2 会合費 | 345,800 | |
| 3 事前参加登録関係費 | 1,000,000 | |
| 4 演題処理関係費 | 2,000,000 | |
| 5 座長依頼、座長管理費 | 278,640 | |
| 6 ホームページ制作関係費 | 1,188,640 | |
| 7 印刷・制作費 | 6,685,740 | |
| 8 翻訳費 | 151,200 | |
| 9 通信費 | 761,996 | |
| 10 運営諸経費 | 2,000,000 | |
| 2 会議運営費 | 74,848,333 | |
| 1 会議場利用料、付帯設備費 | 34,178,023 | パシフィコ横浜 |
| 2 映像機材費 | 6,820,241 | |
| 3 看板関係費 | 1,092,960 | |
| 4 ポスター会場関係費 | 1,034,953 | |
| 5 展示会場関係費 | 6,636,988 | 無線LAN設置費含む |
| 6 大会当日人件費 | 6,665,760 | |
| 7 招待者関係費 | 8,089,760 | プレナリー・特別講演等 |
| 8 会議費 | 6,726,240 | 懇親会・若手国際交流会 |
| 9 運営諸経費 | 2,231,888 | 事務局備品等 |
| 10 市民公開講座運営関係費 | 1,371,520 | |
| 3 事後処理費 | 3,393,037 | 税理士費用・学会貸付金返済含む |
| 4 予備費 | 4,219,214 | |
| 合計 | 100,670,800 | |

11. 大会組織

| | | |
|-------|--------|--------------------------|
| 大会長 | 入來 篤史 | 理化学研究所脳科学総合研究センター |
| 実行委員長 | 三村 將 | 慶應義塾大学医学部 |
| 実行委員 | | |
| 財務委員 | 岸本 年史 | 奈良県立医科大学医学部 |
| | 鈴木 則宏 | 慶應義塾大学医学部 |
| | 須原 哲也 | 放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター |
| | 里宇 明元 | 慶應義塾大学医学部 |
| 大会委員 | 礪村 宜和 | 玉川大学脳科学研究所 |
| | 大塚 稔久 | 山梨大学大学院総合研究部 |
| | 加藤 総夫 | 東京慈恵会医科大学医学部 |
| | 久保 健一郎 | 慶應義塾大学医学部 |
| | 熊崎 博一 | 福井大学子どものこころの発達研究センター |
| | 田岡 三希 | 理化学研究所脳科学総合研究センター |
| | 田中 謙二 | 慶應義塾大学医学部 |
| | 筒井 健一郎 | 東北大学生命科学研究科 |
| | 中島 修子 | 理化学研究所脳科学総合研究センター |
| | 野田 百美 | 九州大学大学院薬学研究院 |
| | 山崎 由美子 | 慶應義塾大学先導研究センター |

プログラム委員長

| | |
|-------|------------|
| 坂上 雅道 | 玉川大学脳科学研究所 |
| 持田 澄子 | 東京医科大学医学部 |

プログラム委員

| | |
|---------|----------------------------------|
| 池谷 裕二 | 東京大学大学院薬学系研究科 |
| 伊佐 正 | 自然科学研究機構生理学研究所 |
| 石井 信 | 京都大学大学院情報学研究科 |
| 岩坪 威 | 東京大学大学院医学系研究科 |
| 上田 泰己 | 東京大学大学院医学系研究科/理化学研究所生命システム研究センター |
| 岡澤 均 | 東京医科歯科大学難治疾患研究所 |
| 岡本 仁 | 理化学研究所脳科学総合研究センター |
| 岡本 泰昌 | 広島大学医歯薬保険学研究院 |
| 小川 園子 | 筑波大学人間系 |
| 尾崎 紀夫 | 名古屋大学大学院医学系研究科 |
| 尾上 浩隆 | 理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター |
| 笠井 清登 | 東京大学大学院医学系研究科 |
| 狩野 方伸 | 東京大学大学院医学系研究科 |
| 上口 裕之 | 理化学研究所脳科学総合研究センター |
| 上川内 あづさ | 名古屋大学大学院理学研究科 |
| 菊水 健史 | 麻布大学獣医学部 |
| 北澤 茂 | 大阪大学大学院生命機能研究科 |
| 黒田 公美 | 理化学研究所脳科学総合研究センター |

| | |
|--------|--------------------------|
| 小林 和人 | 福島県立医科大学医学部 |
| 後藤 由季子 | 東京大学大学院薬学系研究科 |
| 五味 裕章 | NTT コミュニケーション科学基礎研究所 |
| 櫻井 武 | 京都大学大学院医学研究科 |
| 定藤 規弘 | 自然科学研究機構生理学研究所 |
| 澤本 和延 | 名古屋市立大学医学研究科 |
| 白尾 智明 | 群馬大学大学院医学系研究科 |
| 鈴木 匡子 | 山形大学大学院医学系研究科 |
| 高草木 薫 | 旭川医科大学医学部 |
| 高橋 英彦 | 京都大学大学院医学研究科 |
| 高橋 良輔 | 京都大学大学院医学研究科 |
| 内匠 透 | 理化学研究所脳科学総合研究センター |
| 田中 沙織 | 国際電気通信基礎技術研究所 |
| 田中 真樹 | 北海道大学大学院医学研究科 |
| 筒井 健一郎 | 東北大学大学院生命科学研究所 |
| 銅谷 賢治 | 沖縄科学技術大学院大学神経計算ユニット |
| 富永 真琴 | 自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター |
| 富本 秀和 | 三重大学大学院医学系研究科 |
| 内藤 栄一 | 情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター |
| 仲嶋 一範 | 慶應義塾大学医学部 |
| 中村 加枝 | 関西医科大学医学部 |
| 鍋倉 淳一 | 自然科学研究機構生理学研究所 |
| 西田 眞也 | NTT コミュニケーション科学基礎研究所 |
| 貫名 信行 | 同志社大学大学院脳科学研究科 |
| 野田 百美 | 九州大学大学院薬学研究院 |
| 服部 信孝 | 順天堂大学医学部 |
| 花嶋 かりな | 理化学研究所多細胞システム形成研究センター |
| 春野 雅彦 | 情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター |
| 平田 たつみ | 国立遺伝学研究所 |
| 尾藤 晴彦 | 東京大学大学院医学系研究科 |
| 藤田 一郎 | 大阪大学大学院生命機能研究科 |
| 真鍋 俊也 | 東京大学医科学研究所 |
| 三浦 正幸 | 東京大学大学院薬学系研究科 |
| 村井 俊哉 | 京都大学大学院医学研究科 |
| 森 郁恵 | 名古屋大学大学院理学研究科 |
| 山中 宏二 | 名古屋大学環境医学研究所 |
| 山本 亘彦 | 大阪大学大学院生命機能研究科 |
| 吉村 由美子 | 自然科学研究機構生理学研究所 |
| 和田 圭司 | 国立精神・神経医療研究センター神経研究所 |
| 渡辺 雅彦 | 北海道大学大学院医学研究科 |

(五十音順)

組織委員

| | |
|---------|-----------------|
| 浅島 誠 | 日本学術振興会 |
| 安西 祐一郎 | 日本学術振興会 |
| 岡野 栄之 | 慶應義塾大学 |
| 永井 良三 | 自治医科大学 |
| 中尾 一和 | 京都大学 |
| 長谷川 寿一 | 東京大学 |
| 長谷川 眞理子 | 総合研究大学院大学 |
| 樋口 輝彦 | 国立精神・神経医療研究センター |
| 廣川 信隆 | 東京大学 |
| 藤吉 好則 | 名古屋大学 |
| 松沢 哲郎 | 京都大学 |
| 矢崎 義雄 | 国際医療福祉大学 |
| 山岸 俊男 | 一橋大学 |

(五十音順)

12. 寄付募金募集要項

1. 名称： 第 39 回日本神経科学大会

The 39th Annual Meeting of Japan Neuroscience Society

2. 会期および会場：

会期： 2016 年 7 月 20 日（水）～22 日（金）

会場： パシフィコ横浜

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい-1-1-1

<http://www.pacifico.co.jp/>

3. 募金期間：2015 年 9 月 1 日（火）～2016 年 7 月 22 日（金）

4. 募金総額： 10,000,000 円

5. 寄付金の用途

第 39 回日本神経科学大会の事前準備ならびに運営に関する費用に充当

6. 募金募集責任者

第 39 回日本神経科学大会

大会長 入来 篤史（理化学研究所脳科学総合研究センター）

7. 寄付金振込先

銀行名： 三菱東京 UFJ 銀行 新丸の内支店

口座番号： （普）3305095

口座名： 第 39 回日本神経科学大会 大会長 入来 篤史

フリガナ： ダイサンジユウキュウカイニホンシンケイカガクタイカイ イリキ アツシ

8. その他

寄附による免税措置はございません。予めご了承ください。

9. 申込先・問合せ先

第 39 回日本神経科学大会 運営事務局

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン（旧：株式会社 ICS コンベンションデザイン）内

担当：佐藤（謙）、曾根

〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング

TEL：03-5657-0777 FAX：03-3452-8550

E-mail: neurosci2016@jtbcom.co.jp

第 39 回日本神経科学大会 寄付金申込書

申込書提出先 (FAX または、E-mail でお送りください):

第 39 回日本神経科学大会 運営事務局

郵送: 〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング
 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン(旧:株式会社 ICS コンベンションデザイン)内
 FAX: **03-3452-8550** E-mail: **neurosci2016@jtbcom.co.jp**
 ※2016 年 4 月より、移転のため連絡先が変わりました。

本会議の趣旨に賛同し、下記のとおり寄付金を申し込みます。

年 月 日 ()

| | | | |
|--------|------------|----------|--|
| 貴社名 | フリガナ | | |
| 所在地 | 〒 | | |
| ご担当者 | フリガナ | 部署 役職 | |
| 電話番号 | | FAX | |
| E-mail | | | |
| 申込み内容 | 金 _____ 円也 | | |
| 振込予定日 | 年 月 日 | | |
| 備考 | | | |

【個人情報の取り扱いについて】

ご記載いただきました個人情報は、第 39 回日本神経科学大会に関する各種ご連絡に限り使用します。
 本人の承諾が無い限り第三者に開示することはありません。

| |
|--------------|
| 運営事務局 記入欄 |
|--------------|